

IV 調査結果の詳細

IV 調査結果の詳細

1 暮らしの変化について

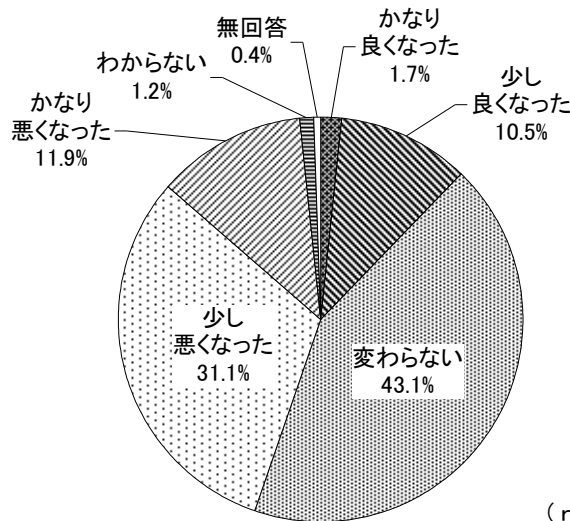
(1) 暮らしの変化

問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。

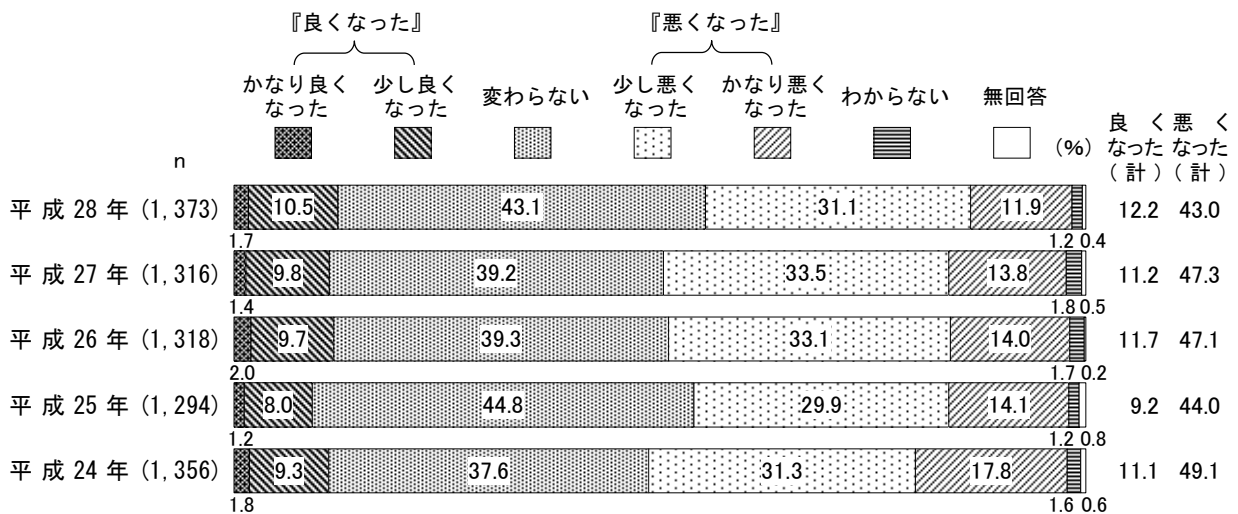
次の中から1つ選んでください。

[n=1,373]

1	かなり良くなった	1.7%	4	少し悪くなった	31.1%
2	少し良くなった	10.5%	5	かなり悪くなった	11.9%
3	変わらない	43.1%	6	わからない	1.2%
				(無回答)	0.4%

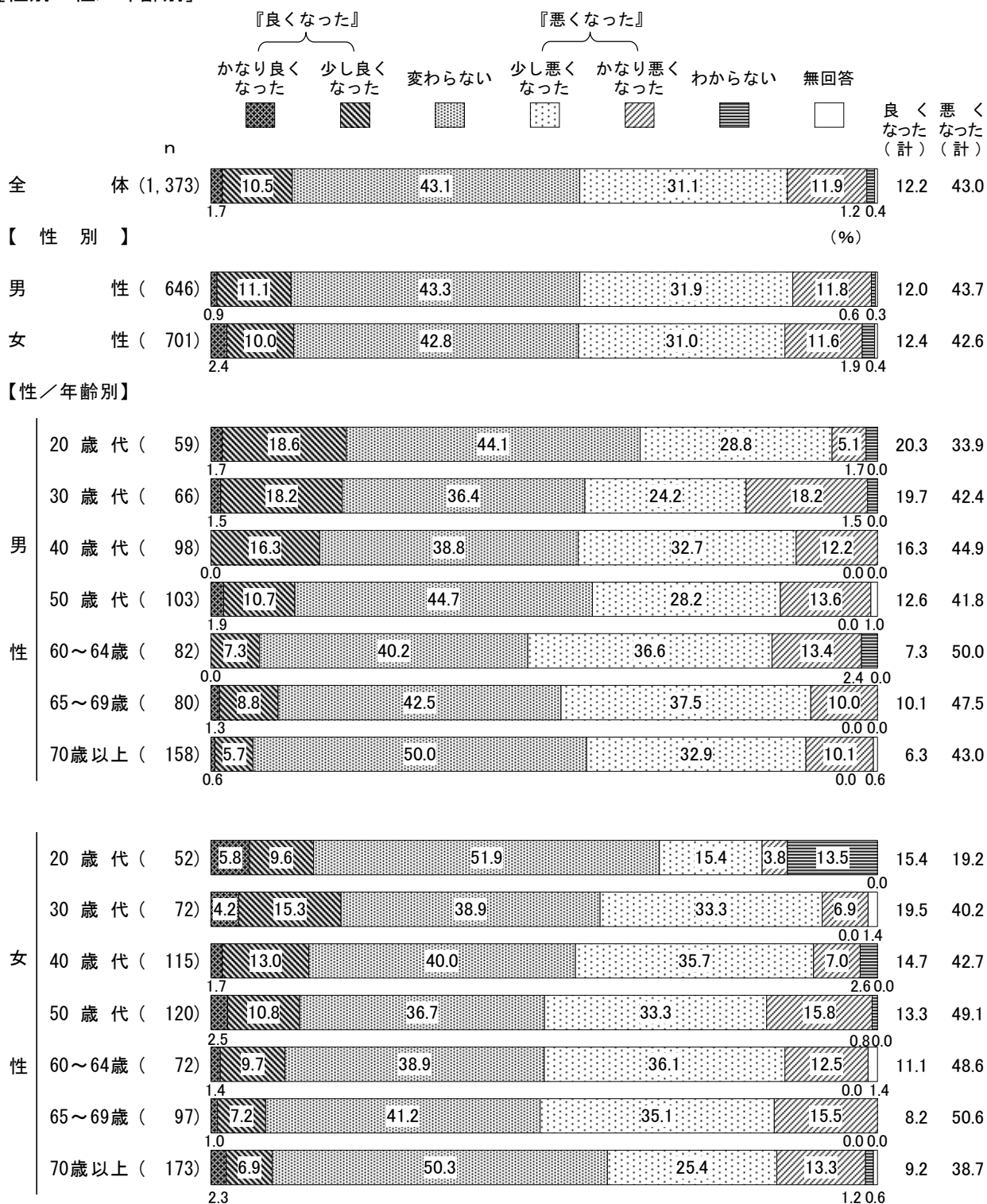


全体で見ると、「かなり良くなった」(1.7%)と「少し良くなった」(10.5%)の2つを合わせた『良くなった』(12.2%)は1割を超えている。「変わらない」(43.1%)と、「少し悪くなった」(31.1%)と「かなり悪くなった」(11.9%)の2つを合わせた『悪くなった』(43.0%)は4割を超えている。



過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』が前回(平成27年)より4.3ポイント減少している。一方、「変わらない」が前回(平成27年)より3.9ポイント増加している。

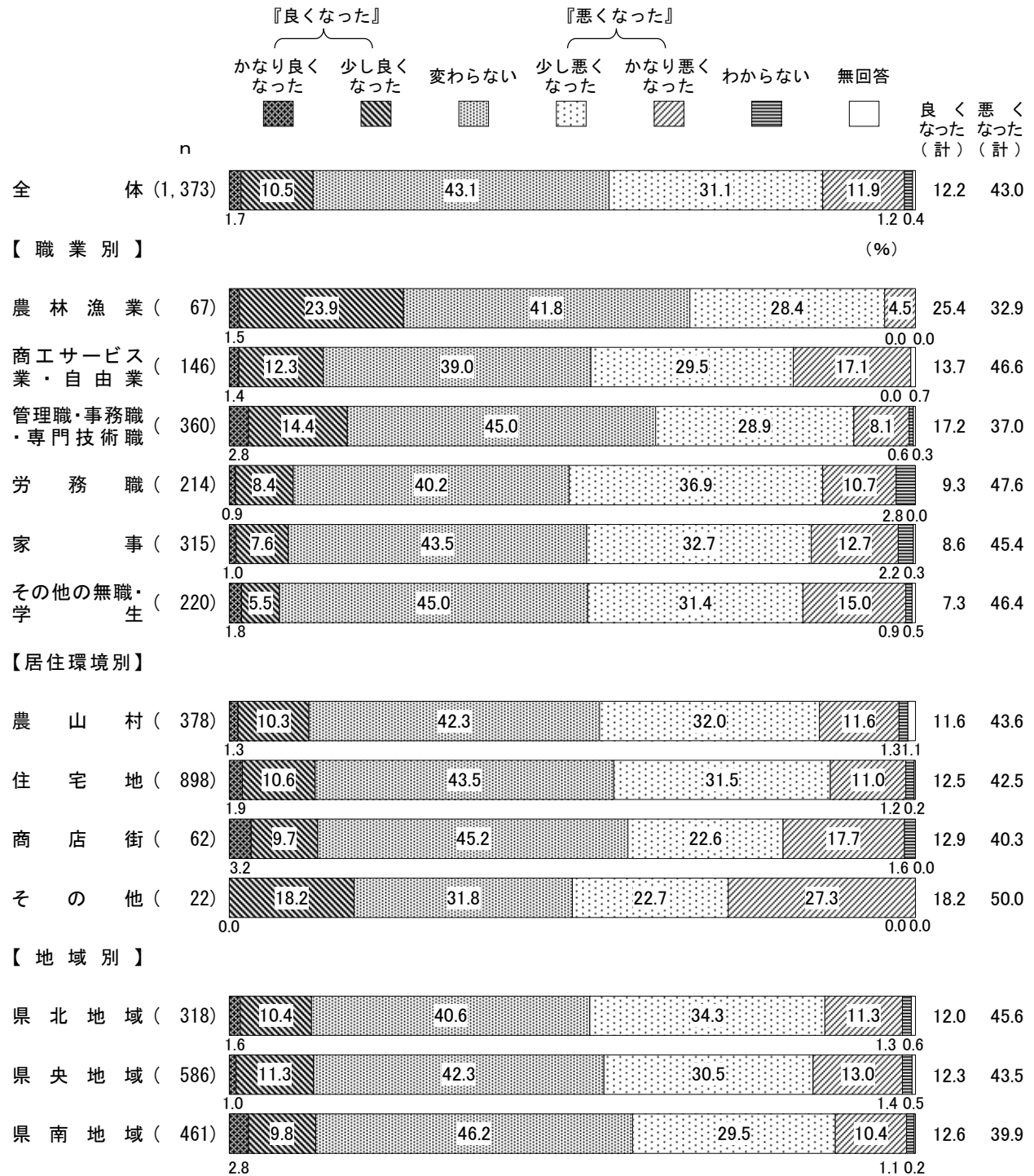
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『良くなった』では〈男性20歳代〉が20.3%、〈男性30歳代〉が19.7%、〈女性30歳代〉が19.5%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈女性65~69歳〉が50.6%、〈男性60~64歳〉が50.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、『良くなった』では〈農林漁業〉が25.4%と高くなっている。

居住環境別でみると、〈その他〉以外では大きな傾向の違いはみられない。

地域別でみると、『悪くなった』では〈県北地域〉が45.6%と高くなっている。

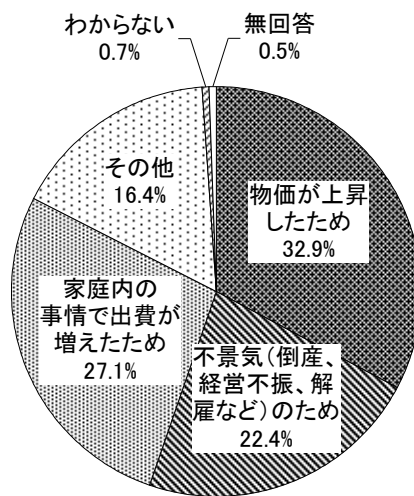
(1-1) 暮らしが悪くなった理由

(問1で選択肢「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

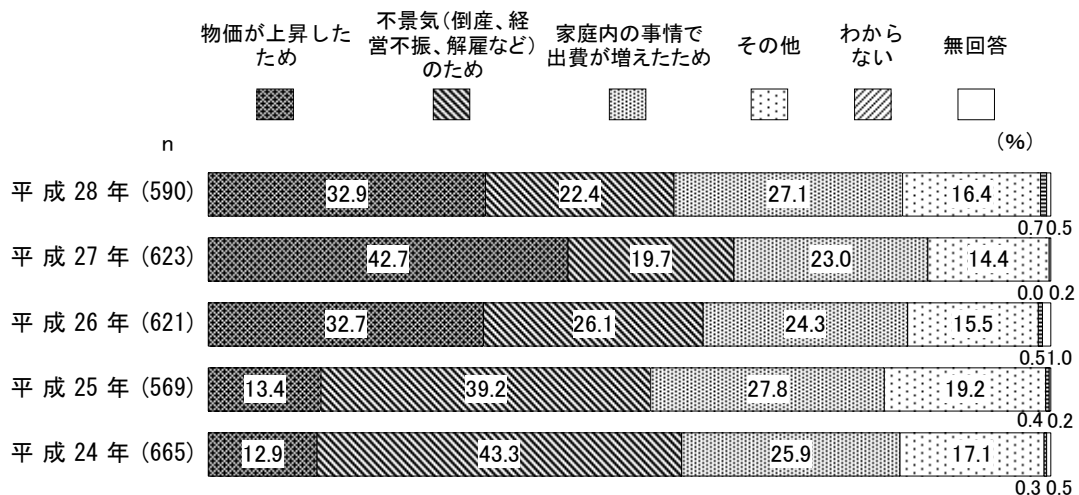
[n=590]

1	物価が上昇したため	32.9%	4	その他	16.4%
2	不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため	22.4%	5	わからない	0.7%
3	家庭内の事情で出費が増えたため	27.1%	(無回答)		0.5%



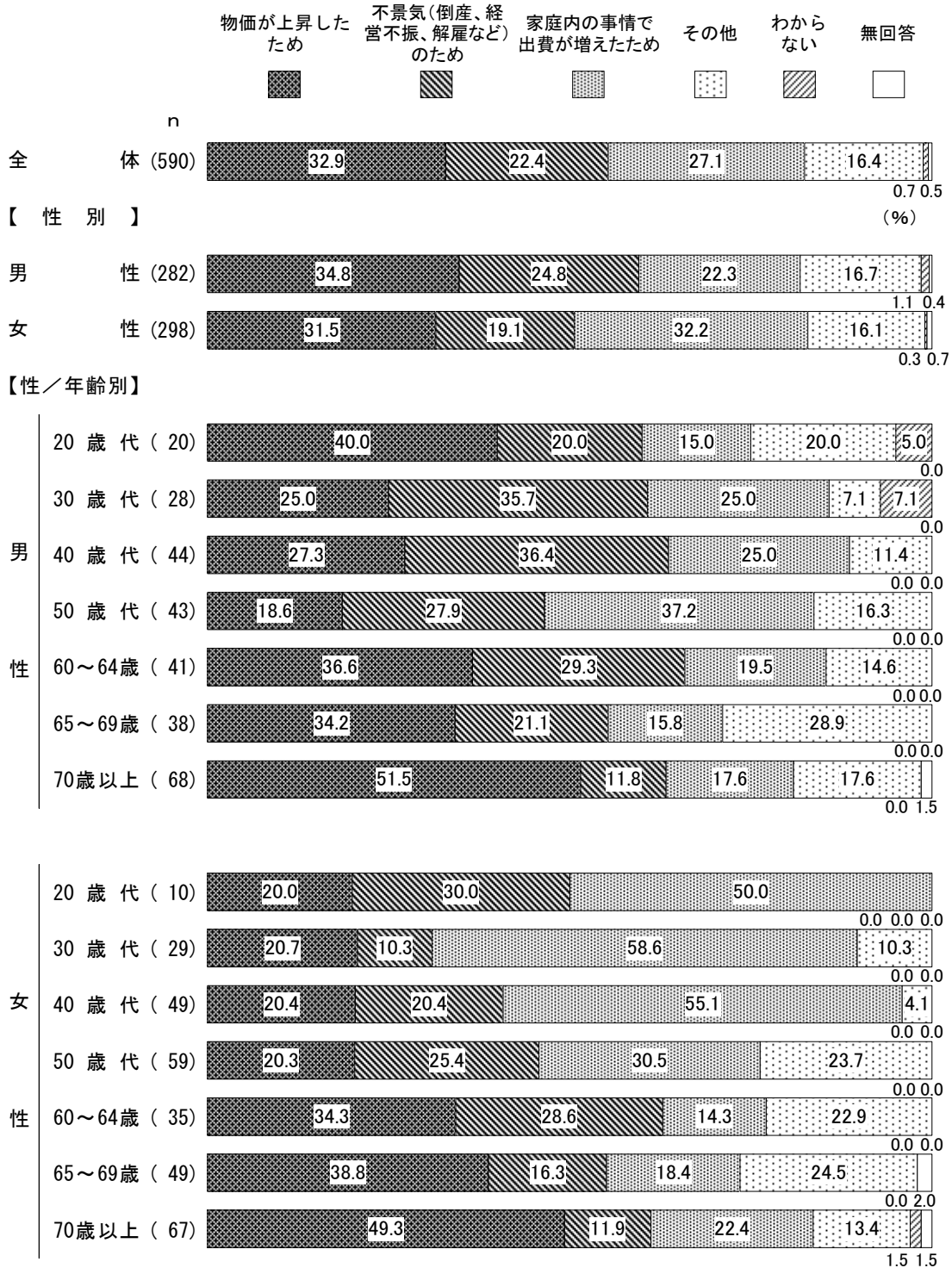
(n=590)

全体で見ると、「物価が上昇したため」(32.9%)が3割を超えて最も高く、次いで「家庭内の事情で出費が増えたため」(27.1%)、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」(22.4%)の順となっている。



過去の調査結果と比較すると、「物価が上昇したため」が前回(平成27年)より9.8ポイント減少している。一方、「家庭内の事情で出費が増えたため」が前回(平成27年)より4.1ポイント増加している。

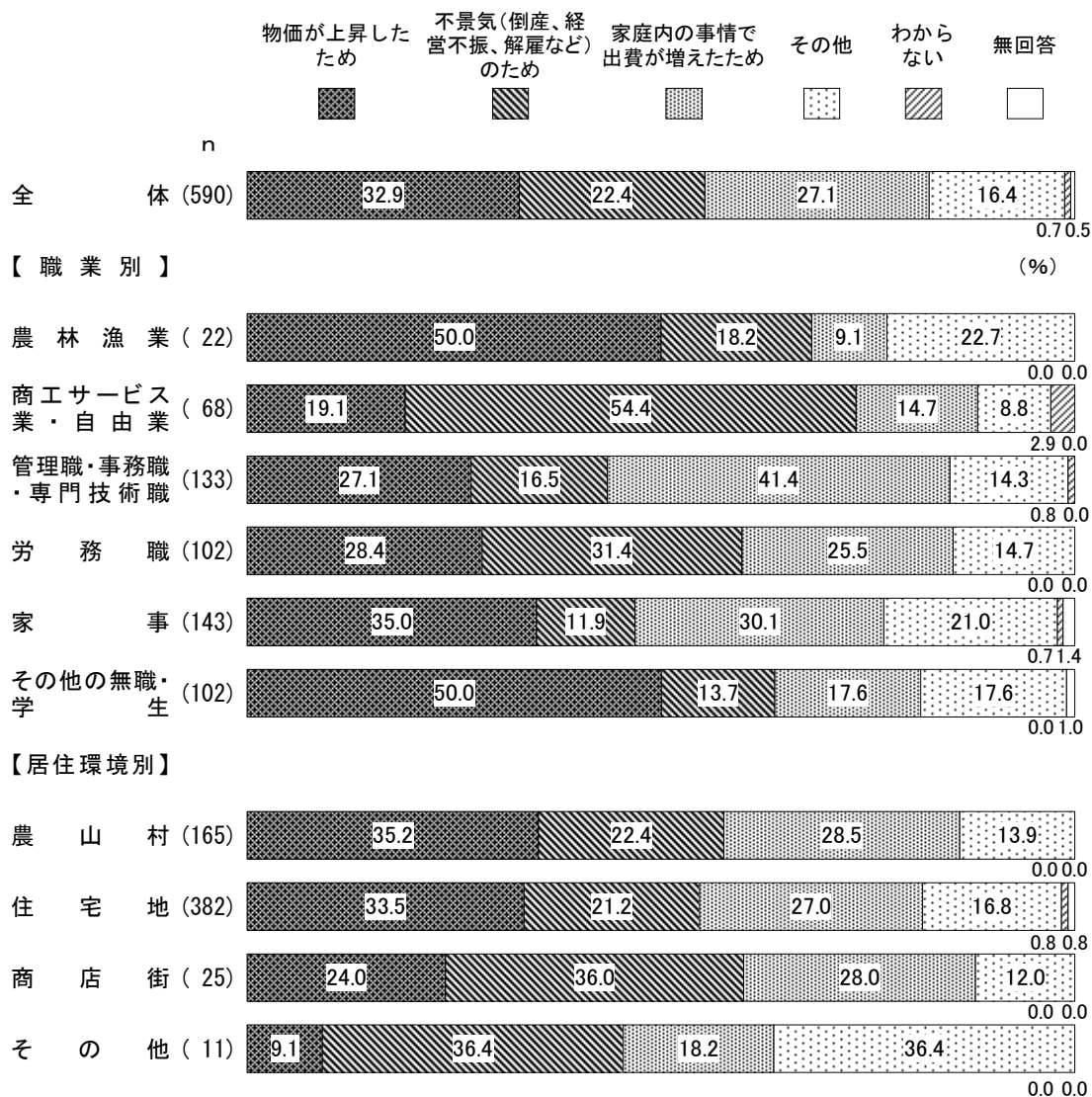
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性〉(32.2%)が〈男性〉(22.3%)より9.9ポイント高くなっている。「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈男性〉(24.8%)が〈女性〉(19.1%)より5.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「物価が上昇したため」では〈男性70歳以上〉が51.5%、〈女性70歳以上〉が49.3%と高くなっている。「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈男性40歳代〉が36.4%、〈男性30歳代〉が35.7%と高くなっている。「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性30歳代〉が58.6%、〈女性40歳代〉が55.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「物価が上昇したため」では〈農林漁業〉と〈その他の無職・学生〉がともに50.0%と高くなっている。「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商工サービス業・自由業〉が54.4%と高くなっている。「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が41.4%と高くなっている。

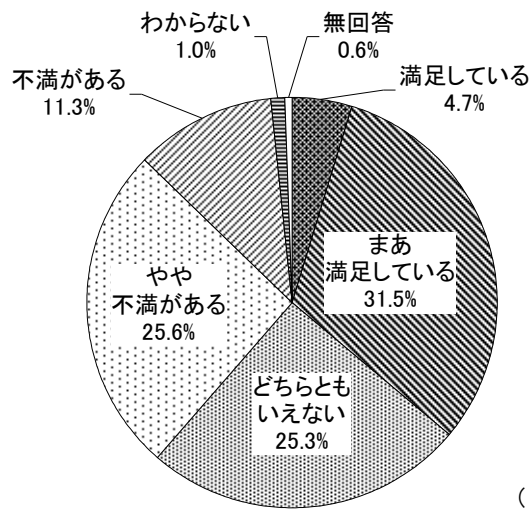
居住環境別でみると、「物価が上昇したため」では〈農山村〉が35.2%と高くなっている。「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈商店街〉が36.0%と高くなっている。

(2) 暮らしの満足度

問2 あなたは、今の暮らしについてどの程度満足していますか。
次の中から1つ選んでください。

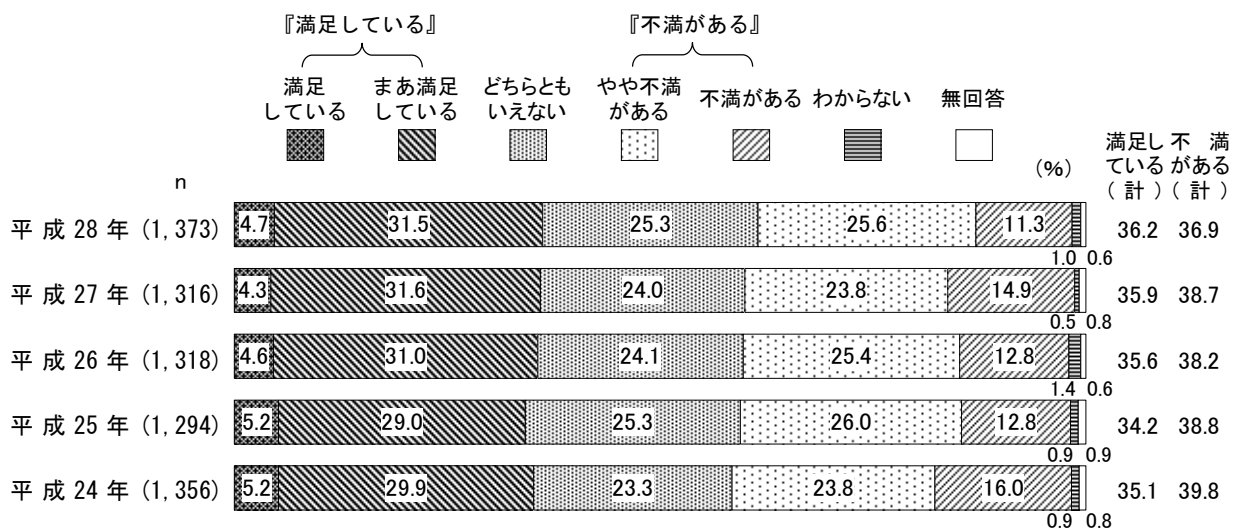
[n=1,373]

1	満足している	4.7%	4	やや不満がある	25.6%
2	まあ満足している	31.5%	5	不満がある	11.3%
3	どちらともいえない	25.3%	6	わからない	1.0%
				(無回答)	0.6%



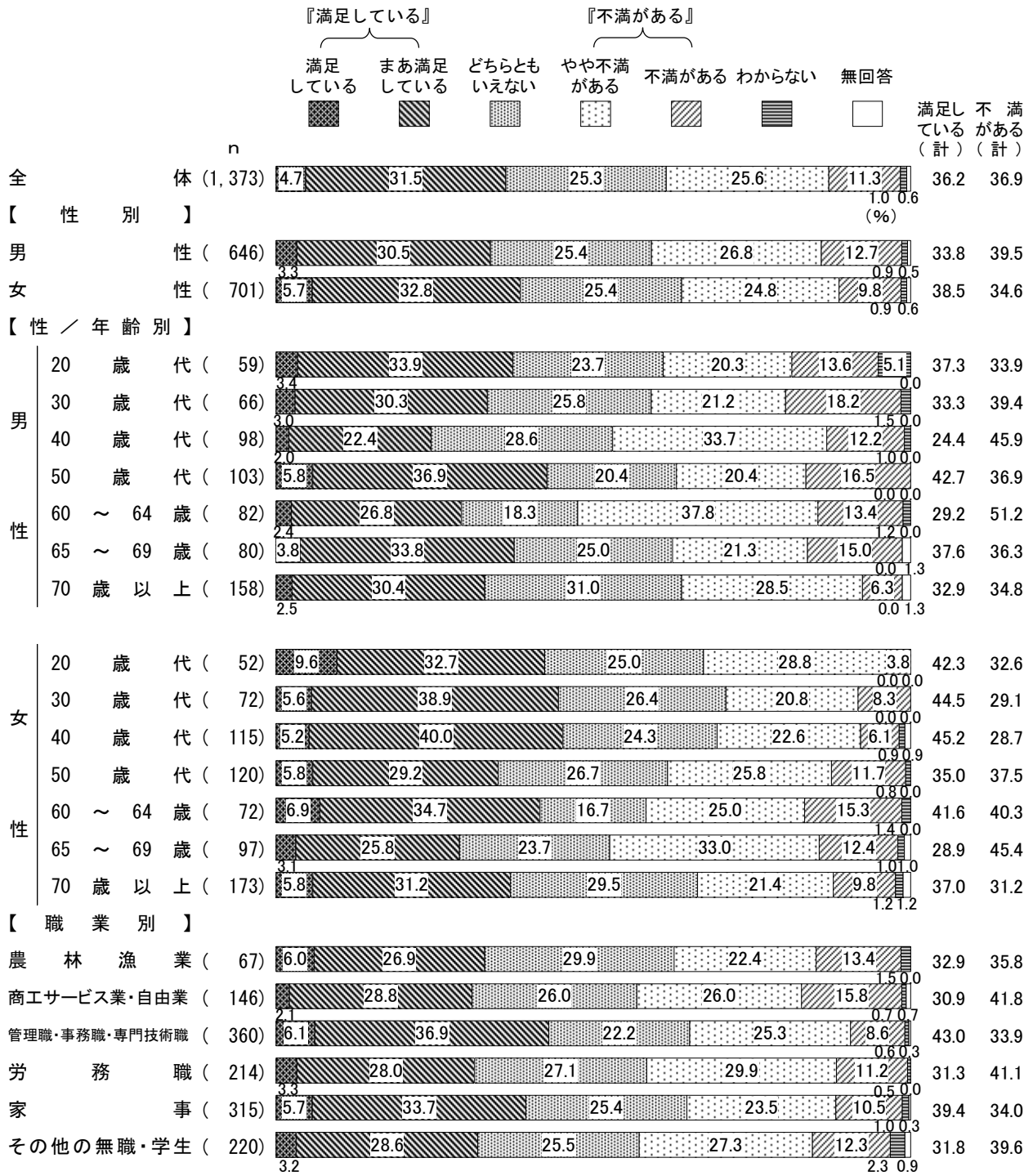
(n=1,373)

全体でみると、「満足している」(4.7%)と「まあ満足している」(31.5%)の2つを合わせた『満足している』(36.2%)は3割半ばとなっている。一方、「やや不満がある」(25.6%)と「不満がある」(11.3%)の2つを合わせた『不満がある』(36.9%)は4割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。

【性別・性／年齢別・職業別】

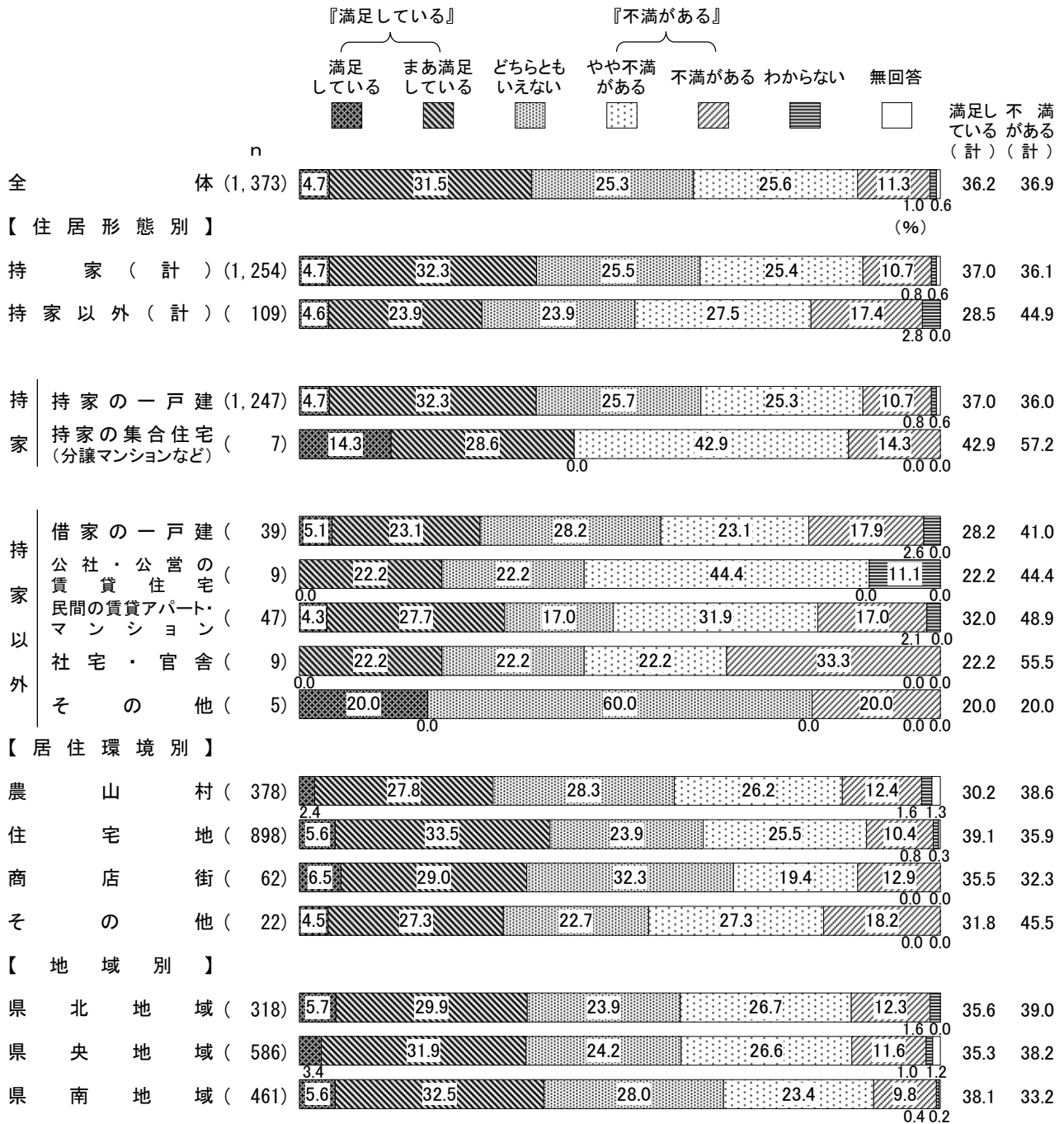


性別でみると、『満足している』では〈女性〉(38.5%)が〈男性〉(33.8%)より4.7ポイント高くなっている。一方、『不満がある』では〈男性〉(39.5%)が〈女性〉(34.6%)より4.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『満足している』では〈女性40歳代〉が45.2%、〈女性30歳代〉が44.5%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈男性60～64歳〉が51.2%と高くなっている。

職業別でみると、『満足している』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が43.0%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈商工サービス業・自由業〉が41.8%、〈労務職〉が41.1%と高くなっている。

〔住居形態別・居住環境別・地域別〕



住居形態別で見ると、『満足している』では〈持家 (計)〉 (37.0%) が〈持家以外 (計)〉 (28.5%) より8.5ポイント高くなっている。一方、『不満がある』では〈持家以外 (計)〉 (44.9%) が〈持家 (計)〉 (36.1%) より8.8ポイント高くなっている。

居住環境別で見ると、『満足している』では〈住宅地〉が39.1%と高くなっている。一方、『不満がある』では〈農山村〉が38.6%と高くなっている。

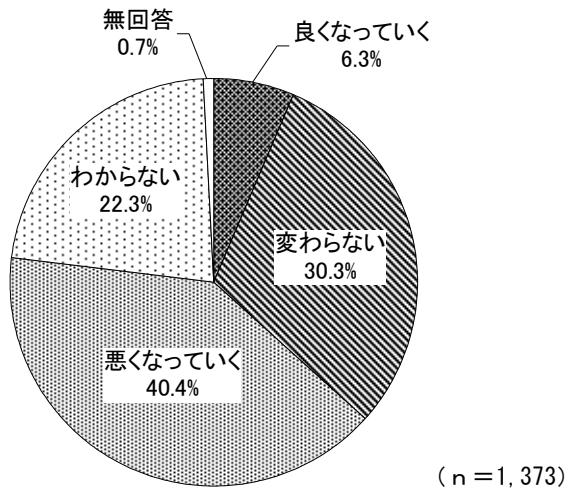
地域別で見ると、『満足している』では〈県南地域〉が38.1%と高くなっている。

(3) 今後の暮らしの状況

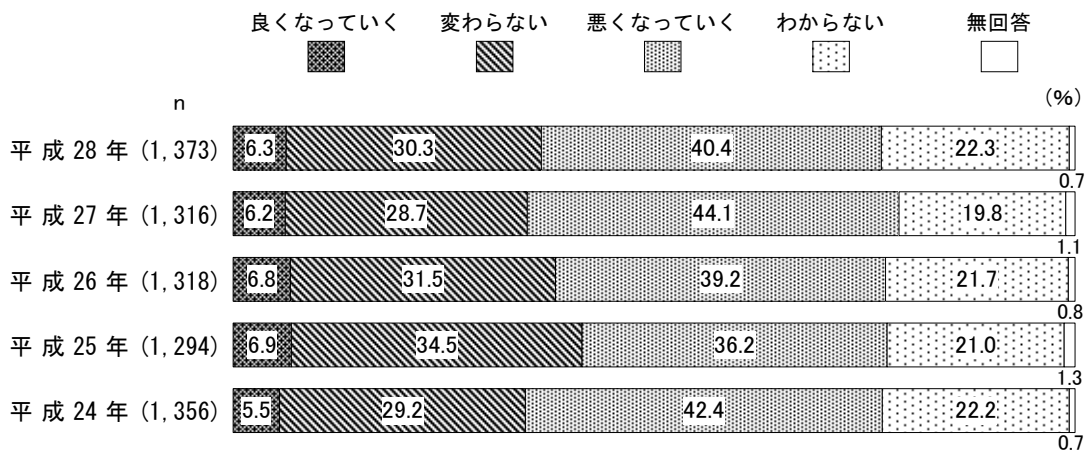
問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。
次の中から1つ選んでください。

[n=1,373]

1 良くなっていく	6.3%	3 悪くなっていく	40.4%
2 変わらない	30.3	4 わからない	22.3
		(無回答)	0.7

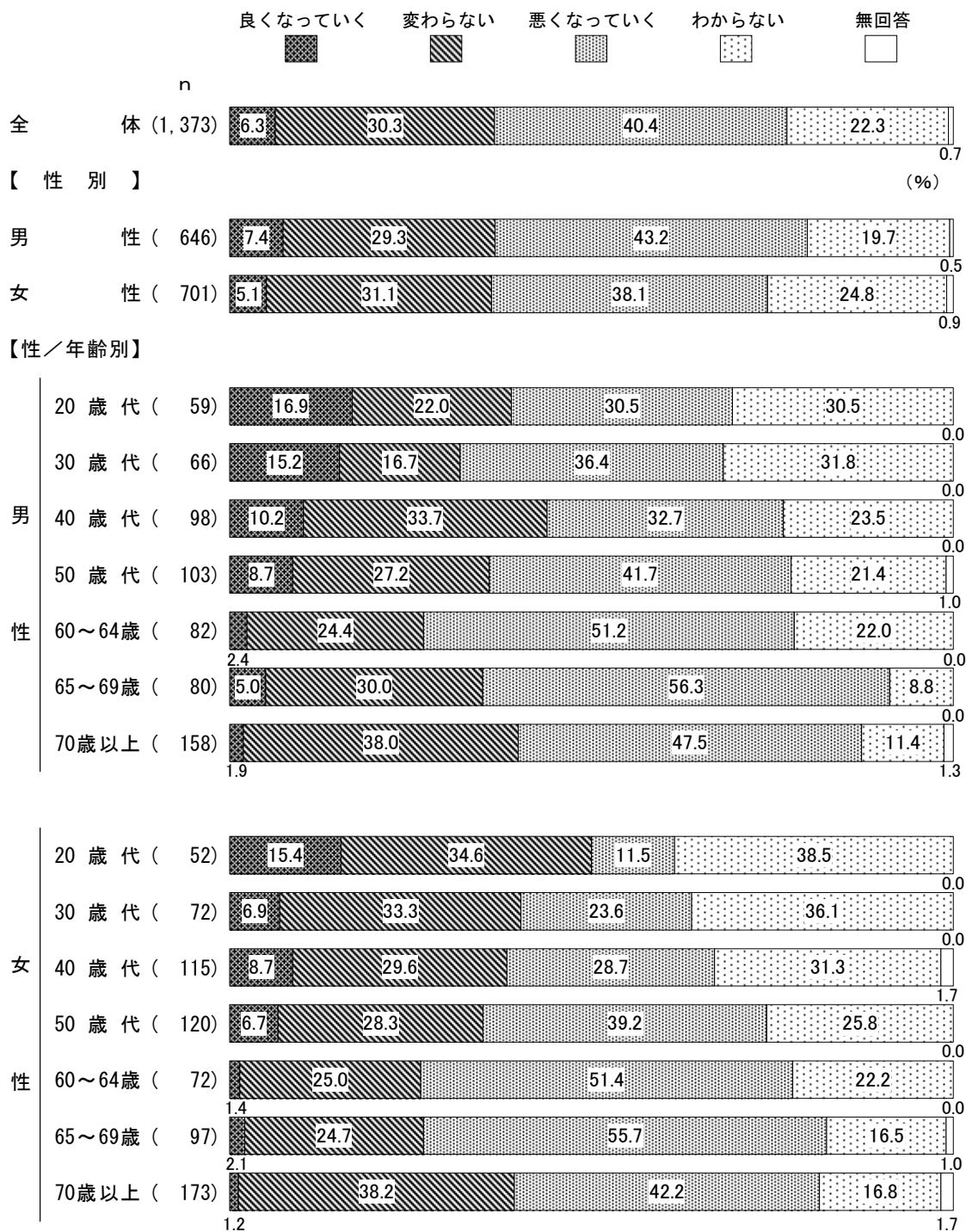


全体で見ると、「良くなっていく」(6.3%)は1割に満たない。「変わらない」(30.3%)は3割で、「悪くなっていく」(40.4%)は4割となっている。



過去の調査結果と比較すると、「悪くなっていく」が前回(平成27年)より3.7ポイント減少している。

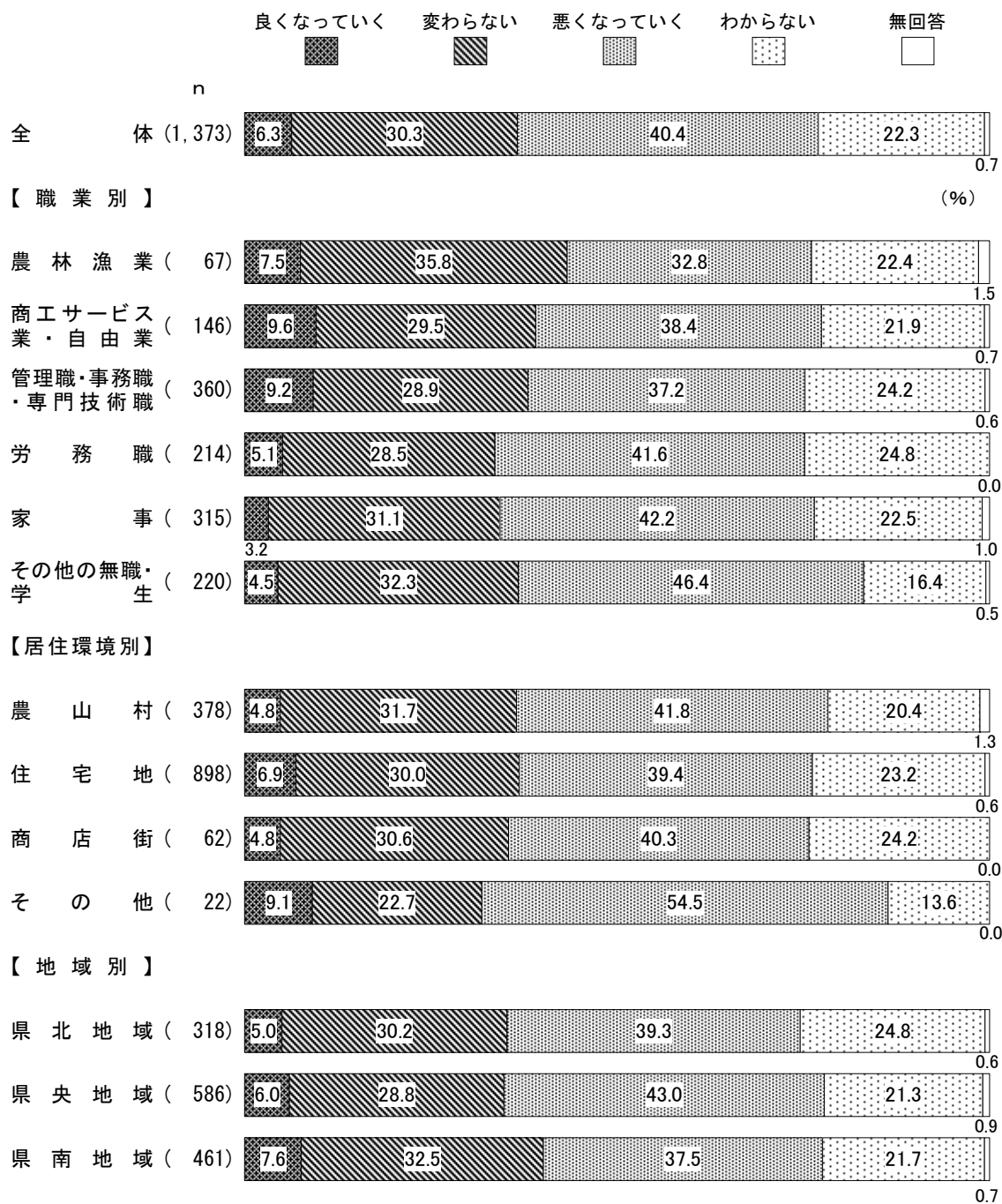
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「悪くなっていく」では〈男性〉(43.2%)が〈女性〉(38.1%)より5.1ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「良くなっていく」では〈男性20歳代〉が16.9%、〈女性20歳代〉が15.4%、〈男性30歳代〉が15.2%と高くなっている。「変わらない」では〈女性70歳以上〉が38.2%、〈男性70歳以上〉が38.0%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈男性65~69歳〉が56.3%、〈女性65~69歳〉が55.7%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別で見ると、「変わらない」では〈農林漁業〉が35.8%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈その他の無職・学生〉が46.4%と高くなっている。

居住環境別で見ると、〈その他〉以外では大きな傾向の違いはみられない。

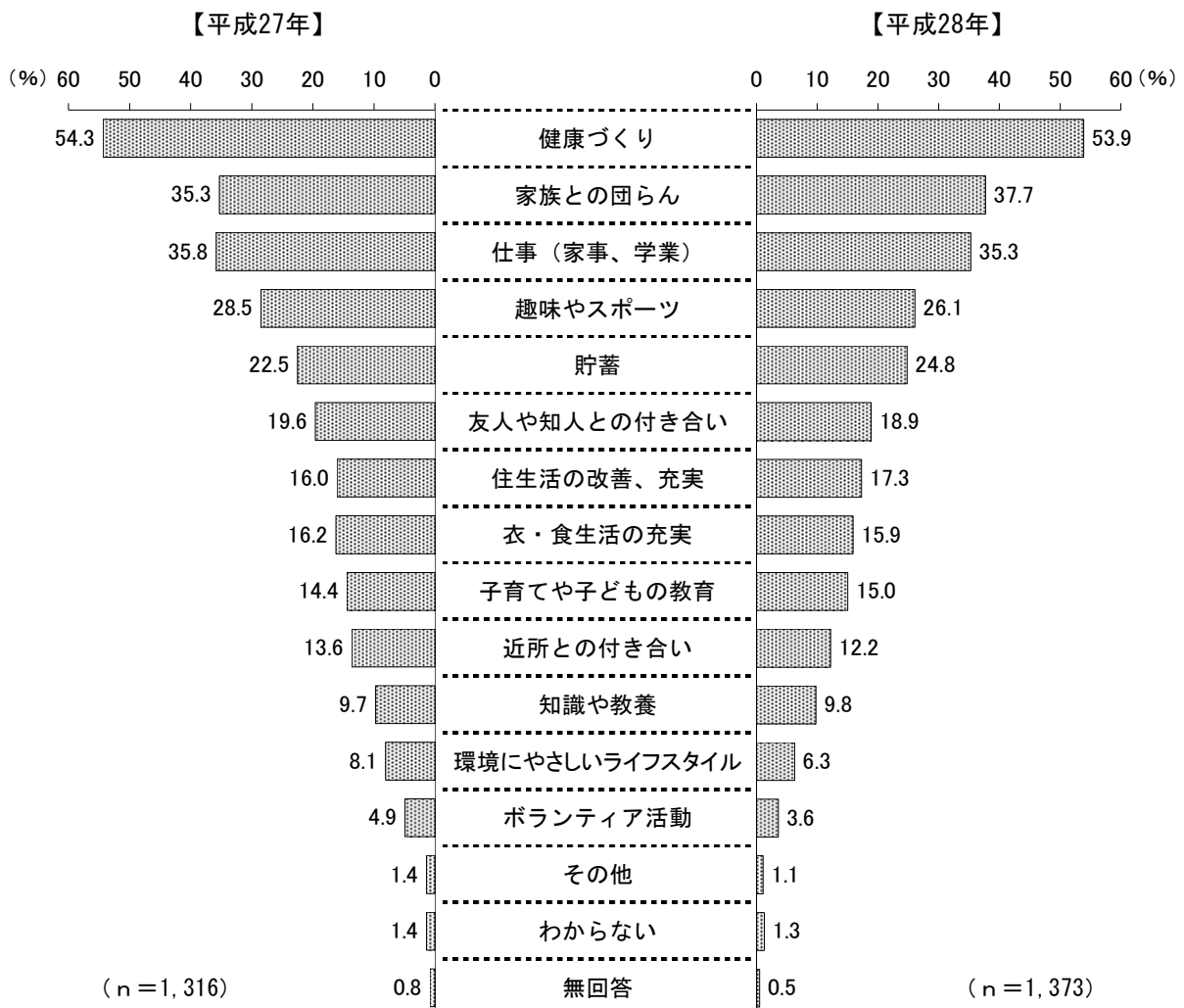
地域別で見ると、「悪くなっていく」では〈県央地域〉が43.0%と高くなっている。

(4) 今後の暮らしで力を入れる点

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,373]

1	仕事（家事、学業）	35.3%	9	家族との団らん	37.7%
2	知識や教養	9.8	10	近所との付き合い	12.2
3	貯蓄	24.8	11	友人や知人との付き合い	18.9
4	趣味やスポーツ	26.1	12	子育てや子どもの教育	15.0
5	ボランティア活動	3.6	13	健康づくり	53.9
6	衣・食生活の充実	15.9	14	その他	1.1
7	住生活の改善、充実	17.3	15	わからない	1.3
8	環境にやさしいライフスタイル	6.3		（無回答）	0.5

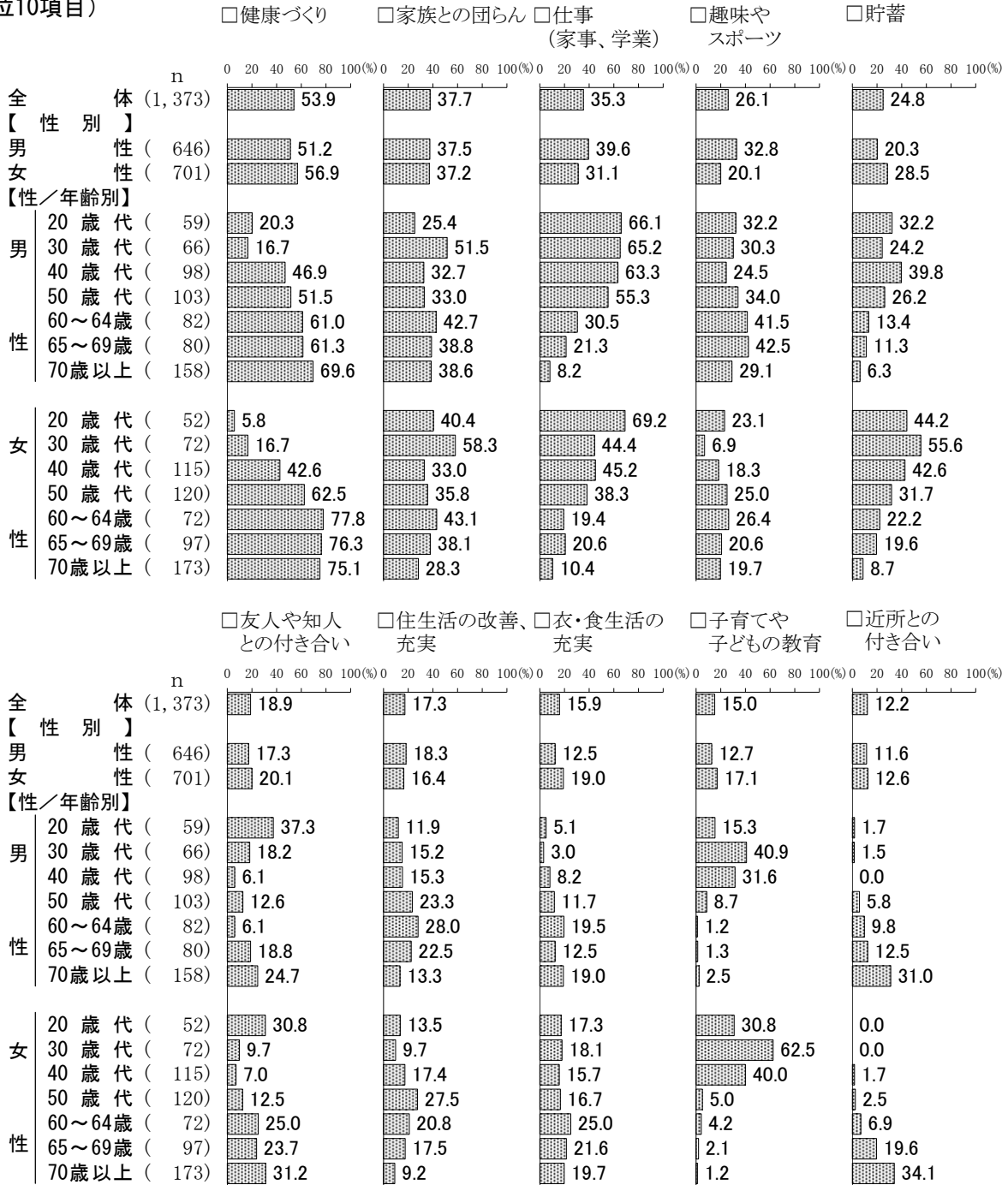


全体で見ると、「健康づくり」(53.9%)が5割を超えて最も高く、次いで「家族との団らん」(37.7%)、「仕事（家事、学業）」(35.3%)、「趣味やスポーツ」(26.1%)、「貯蓄」(24.8%)の順となっている。

前回（平成27年）の調査結果と比較すると、「家族との団らん」が2.4ポイント、「貯蓄」が2.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「趣味やスポーツ」が2.4ポイント減少している。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

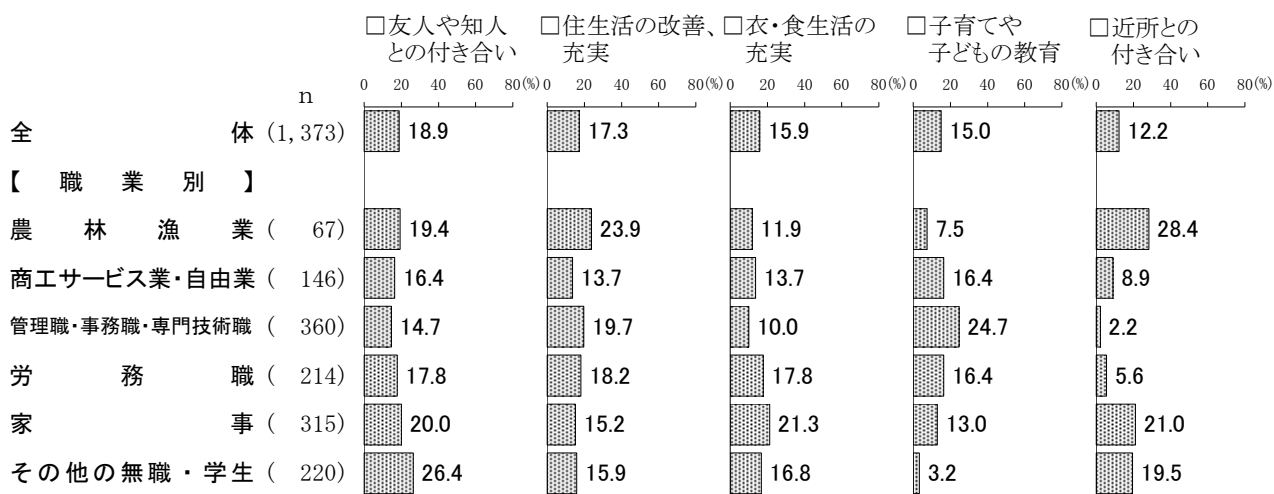
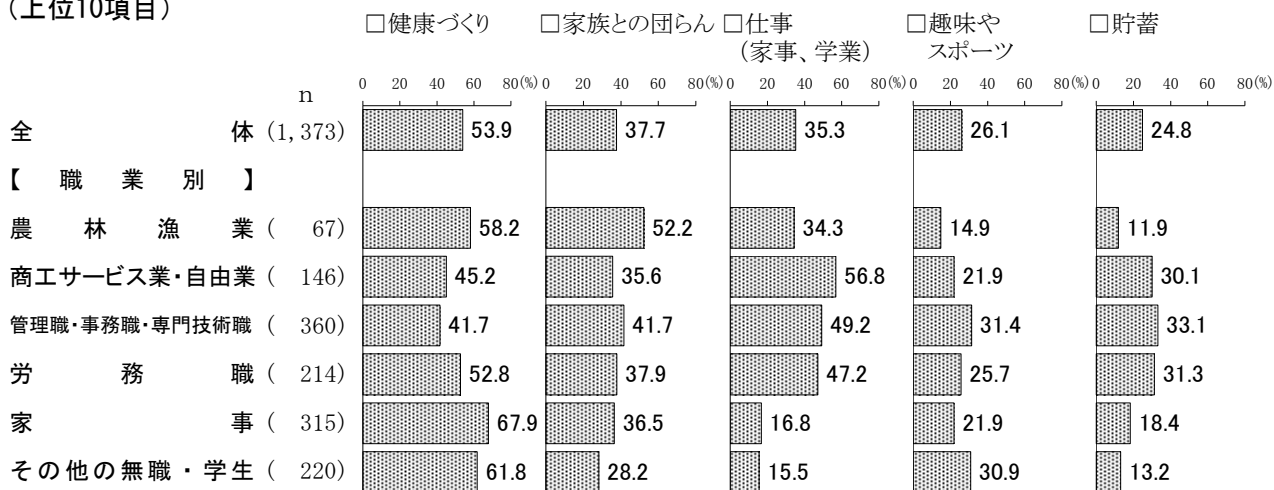


性別で見ると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(32.8%)が〈女性〉(20.1%)より12.7ポイント高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈男性〉(39.6%)が〈女性〉(31.1%)より8.5ポイント高くなっている。「貯蓄」では〈女性〉(28.5%)が〈男性〉(20.3%)より8.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「健康づくり」では〈女性60~64歳〉以上の年代がそれぞれ7割台と高くなっている。「家族との団らん」では〈女性30歳代〉が58.3%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈男性40歳代〉以下の年代と〈女性20歳代〉がそれぞれ6割台と高くなっている。「貯蓄」では〈女性30歳代〉が55.6%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉が62.5%と高くなっている。「近所との付き合い」では〈女性70歳以上〉が34.1%と高くなっている。

[職業別]

(上位10項目)



職業別でみると、「健康づくり」では〈家事〉が67.9%と高くなっている。「家族との団らん」では〈農林漁業〉が52.2%と高くなっている。「仕事（家事、学業）」では〈商工サービス業・自由業〉が56.8%と高くなっている。「友人や知人との付き合い」では〈その他の無職・学生〉が26.4%と高くなっている。「近所との付き合い」では〈農林漁業〉が28.4%と高くなっている。